

佐久市中小企業振興資金あっせん審査委員会会議記録（要旨）

日 時：平成29年7月27日(木)
午後1時30分から

場 所：佐久市役所 7階
703会議室

出席者13名（委員9名、事務局4名）

- 1 委嘱書交付
- 2 あいさつ（市長代理：佐藤経済部長より）
- 3 開 会
委員・職員自己紹介
- 4 正副委員長選出
委員長 八十二銀行岩村田支店長 柳沢一明委員
副委員長 佐久商工会議所専務理事 佐藤剛委員
- 5 委員長あいさつ

※本来、佐久市中小企業振興資金あっせん審査委員会は、資金の適正な運用を図るための諮問機関として設置されており、審査を行う案件があった場合に開かれるが、今回は委員の任期満了に伴う委嘱書交付のために開催された。

会議の内容は、特別の理由がある場合を除いて一般に公表しないと規則に規定されているため、報告事項については、事務局から説明をした内容を抜粋して掲載します。

6 報告事項

(1) 平成27年度・平成28年度融資あっせん状況について

事務局より資料を提示して説明：資金別（12資金）及び業種別6種（製造・小売・卸売・飲食・建設・サービス）の月別の利用件数及び金額を年度ごとに表にした資料を提示。

（説明要旨）平成27年度のあっせん実績については、利用件数178件、融資総額7億5,415万円で、前年度対比が件数で17%、金額で16%の減となった。

減少の原因としては、近年の市場金利の低下に伴い、金融機関プロパー資金や政策金融公庫の方が低金利で借り入れ可能になっていることから、制度資金の利用が減少しているものと考えられる。

平成28年度のあっせん実績については、利用件数199件、融資総額8億5,988万円で、前年度対比が件数で12%、金額で14%の増となった。

増加の原因としては、28年度から、利率について、県制度資金に準じて平均でマイ

ナス0.1%の改定を行ったことが要因の一つと考えられる。また、経営安定対策分について、件数、金額ともに増加しており、利用件数51件のうち28件が借換えを伴う案件であり、借換えの需要が増加していることが考えられる。

平成29年度になってからの6月までの実績については、利用件数61件、融資総額2億3,198万円で、前年同期比が件数で53%、金額で50%の増となった。前年度対比について、設備資金が4倍以上に増えており、営業車両の買い替えや、空調設備の改修など老朽化した設備の更新が主な内容となっている。

28年度及び29年度の制度改定については、28年度は利率を引き下げた。29年度は利用実績の少ない資金について廃止したほかは大きな改正を行っていない。

利率の改定前後における、県内各市の利率の比較については、佐久市の利率はほぼ平均的な水準となっている。（以上、説明要旨）

(2) 市制度資金の課題について

事務局より、市制度資金の改善に向けて、商工団体や金融機関の要望・意見を集約し、今後協議を重ねていきたい旨を説明、協力を依頼した。（以上、説明要旨）

(3) その他

報告事項は特になし。

7 閉 会 午後2時20分